

小さな商店街から世界へ ～郊外型店舗のパイオニア、青山商事株式会社～

B 班：松井祐太 畑尻果南 渡辺康哲

1.はじめに

私たちが「20 歳のころ」に取り組むにあたって、まず、班の研究テーマを
「日本が世界に誇れる企業の方の 20 歳のころ」としました。

そして、班員全員が**小売業に興味**を持っており、
会社で働く日本人にとって必要なものであるスーツを販売している、
青山商事株式会社、広報室室長の岡田さんにインタビューをさせていただきました。

2.プロフィール

今回、インタビューさせていただいた岡田さんと青山商事のプロフィールです。

岡田 希之さん

1966 年 広島県府中市生まれ
1984 年 駒澤大学経営学部入学、軽音楽サークルに所属
1989 年 青山商事株式会社入社
2015 年 広報室室長就任

青山商事株式会社

1964 年 5 月、広島県府中市において紳士服を主に、飲料・食料品、県の特産品販売などの事業を行う会社として設立、現在は紳士服の専門店として、全国 47 都道府県すべてに 800 店以上をチェーン展開している。1998 年には、スーツ販売着数世界一ということで、ギネスに認定された。

小さな商店街から世界へ

～郊外型店舗のパイオニア、青山商事株式会社～

3.インタビュー内容

○20歳のころの岡田さん

大学のサークル活動に熱中していたため、将来の就職のことも考えていなかったそうです。

また、青山商事に就職した理由は、特にやりたいことが見つからなくて、企業の情報を調べていたら、同じ広島出身の青山商事を見つけ「Uターン就職」の道を選んだとおっしゃっていました。

○経験して良かったこと

1つ目は、サークルで幹事長や経理を務めたこと。

大勢の人のまとめ方、効率的なお金の使い方を実践的に学べたそうです。

2つ目は、アルバイトで接客の方法や運営の仕方を学べたこと。

全体的なオペレーションの流れや、喜んでもらえるような接客方法が学べたことで今の仕事に活きているとおっしゃっていました。

○後悔したこと

1つ目は、大学生活で資格を取らなかったこと。

学生の時には勉強する時間が多くあったのに、販売士の資格などは店長になってから取ったそうです。「働き始めると、大学生に比べて全然時間が無いから取得するのに苦労した」とおっしゃっていました。

2つ目は、就職活動のスタートが遅かったこと。

岡田さんが大学生の時代は、まだパソコンが無かったので自分の足で探さないとダメだったそうです。それに手間がかかり過ぎて就職活動にも興味がわかなかったそうです。

今考えると、「もっと早く始めていれば資格の勉強時間もすごくあったのになぁ～」とおっしゃっていました。

○スーツへの思い

20歳のころは、スーツには全然興味を持っていなかったそうです。ですが、日本人がビジネスで一番着ているということ、またスーツが日本発祥ではないということは知っていたそうです。

現場だけでなく広報の仕事もやることによって、日本人にとってスーツは特別な仕事着であること、スーツは日本人の文化意識によって仕事着になっていることに気付いたそうです。

小さな商店街から世界へ

～郊外型店舗のパイオニア、青山商事株式会社～

4.考察

岡田さんに聞いた話を、大きく4つのキーワードに分けました。

○好きなことに全力で！

- ・・・自分が今やっていることや興味があることに全力で取り組むことで、将来の仕事に生きてくることがあるかもしれないということ。

○新しい目線で！

- ・・・(Uターン就職を決めた岡田さんの話より) 当たり前のように近くにあるものでも新しい目線で物事を見ることでまた違った見方ができるということ。

○今ある時間を大切に！

- ・・・時間がある学生のうちに勉強したり、積極的に行動して時間を有効活用すること。

○出会いを大切に！

- ・・・末永く付き合っていける仲間を見つけ、自分自身が必要とされる人間になることが大切だということ。(岡田さんの話より)

5.感想

今回、岡田さんにインタビューをして「必要とされる人間になるということ」がとても大事だということがわかりました。また、必要とされる人間になるためには、社会に出る前の大学生活4年間のうちに、末永く付き合っていける仲間を見つけることが必要だということ。仲間を見つける、自分のやりたいことを見つけるためにも好きなことに全力で取り組むこと。必要とされるためにも、時間がある大学生のうちに積極的に勉強したり行動したりすることで時間を無駄にせず有効活用すること。全てが自分の将来につながるプロセスになる事がわかりました。

今回の「20歳のころ」のインタビューを通して、いかに大学生活4年間の時間が重要か、またこれからの大学生活をどのように過ごしていけば良いか学ぶことができました。発表準備では、メンバー3人のスケジュールが合わず、協調性や団結力の重要性を感じましたし、限られた時間の中で、より良いものを作り上げる集中力が養われました。

お忙しい中、インタビューを快く承諾してくださった青山商事の岡田さんに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。